

挨拶

Anne McLellan Howard氏よりニュースレター編集のバトンを渡されました。Anne、この4年間、指揮をありがとう。そして、この仕事のトレーニングをしてくれてありがとう！Anneがしてきたように仕事ができればと思います。ニュースレターを情報満載で面白いものにできるようにベストを尽くします。前もって、皆さんのご尽力ご支援に感謝を述べさせていただきます。

少し自己紹介しますと、現在は主に大阪の関西外語大学で1年生を教えています。外大の前はアメリカのアラバマ大学の英語学校でEAP（学問のための英語）を教えました。二つの教える内容には大きな違いがあり、外大では大きな修正が必要でした。現在の教室では以前と比べると語用論を教える機会が増えました。会話のやり取りの語用論的要素をより特出して教材を練り上げる時間がふえました。

2004年英国のアストン大学における修士論文のために、Griceの協調の原理を教室で授業中の第2言語としての英語学習者間のコミュニケーションの頓挫を説明するのに用いました。面白い研究でしたが、それ以降その研究を続けていませんでした。その代り最近では語用論学習のためのアメリカの人気のあるテレビ番組を用いたスピーキング・リスニングコースの教材や方法論の改訂をしていました。人々が口に出して言うこととは、必ずしもその人が意味していることではないという認識をもっと学生が持つ

ように努めています。これはあまり人生経験のない19歳の人間にとって、注意を要するものです。彼らはこのような図式を持っていません。しかしながら、テレビ番組や授業はとても面白いと言ってくれます。彼らは確かに授業に注目しているのです！今よりもっとタスク中心のアクティビティにするように改正していくつもりです。そうすれば、現在のものよりも学習者がアクティビティに携わるようになるでしょう。

ニュースレターへの寄稿を通して、皆様のご意見を聞けるのを楽しみにしています。

どうもありがとうございます。

Sybil Armstrong

小原 麻友美 訳

目次

編集長からのメッセージ	1
語用論部会からのお知らせ	2
学会レポート	3
学会ウォッチ	5
ピープルウォッチ	6
特集記事	9

「語用論事情」を購読するには

JALT 会員:	1500 yen (部会会費を含む)
非JALT 会員:	2500 yen (この場合購読のみとなります)